

京都市立芸術大学美術学部「研究紀要」掲載規程

1. 掲載内容

- (1) 作品： 作品の写真記録
- (2) 論文： 未発表の研究論文、外国語論文の翻訳
- (3) 報告： 海外での調査報告、シンポジウム等の記録、研究資料など

2. 掲載資格

原則として本学専任教員。その他、本学嘱託教員、他機関からの共同研究参加者、本学博士課程在籍者など。

3. 編集

広報委員のうち、学科教員一名と実技教員一名が紀要委員となり、査読および編集作業全般に責任をもつ。特に本学博士課程在籍者の原稿に関しては、掲載可否の判断を含め、指導教員及び紀要委員の査読を掲載の前提条件とする。

4. 発行

発行は、年一回、年度内におこなう。紀要委員が教授会において原稿を募集し、締切を通知する。

5. 掲載要項

文字原稿

- ・校正は、原則として誤字の訂正にかぎるので、十分推敲したうえで提出すること。執筆者校正は再校までとする。
- ・投稿は、誤植を避けるためにできるだけ電子原稿とし、CD、DVD 等の電子メディアに記録して提出する。またメールでの送付も可。

- ・文章は、プレーンテキスト（拡張子 .txt）、リッチテキスト（拡張子 .rtf）、Illustrator（拡張子 .ai）等の形式で記録することが望ましい。またワード、一太郎といった一般的なワープロソフトでも可。それ以外のワープロソフトを使用するときは、可能かどうか紀要委員に問い合わせること。
- ・電子メディアにはかならずプリントアウトを添付する。その際、原稿のなかでまぎらわしいと思われる部分には指示をいれること。たとえば文字化けした箇所、ルビや空白（半角アキ・全角アキ）の指定、イタリック（*italic* イタ）やゴシック（**gothic** ゴチ）の指示、ハイフン（-）とマイナス（-）とダッシュ（—）の区別など。また、システム外字（処理系によって表示が異なる特殊文字で、丸数字・ローマ数字・括弧付き文字・単位記号などがある）はできるだけ使用を避けること。
- ・論文や報告のタイトルと著者名には、欧文表記も付記する。

画像原稿

- ・写真は、プリント、ポジ、ネガのいずれも可とする。写真には、タイトル、製作年、サイズ、素材や技法を明記すること。
- ・写真を電子メディアに記録して提出する場合、汎用の EPS（拡張子 .eps）、JPEG（拡張子 .jpg）、BMP（拡張子 .bmp）または GIF（拡張子 .gif）が望ましい。推奨解像度は、印刷サイズに合わせたとき 360dpi 以上。
- ・作品のタイトルと著者名には、欧文表記も付記する。
- ・著作権については、紙媒体及びリポジトリに関して執筆者が責任を持って許諾を得ること。
- ・京都市立芸術大学リポジトリ登録申請書に諸事項を記入して、原稿とともに提出する。